

### 大口酒造株式会社



(本社の建物)

＜主な業務内容＞  
単式蒸留焼酎製造業  
＜EA21 登録日＞  
2006年12月



(環境担当者 研究員 瀬戸口智子様)

今回お邪魔したのは、伊佐市大口にある大口酒造株式会社です。黒麹焼酎の先駆けとなり、「黒伊佐錦」をはじめとした数々の焼酎の研究開発・販売等事業を展開しています。

焼酎といえば男性が飲むというイメージが強いのですが、女性でも飲みやすい香りゆらめく「伊佐小町」を瀬戸口さん等女性社員が研究開発し販売されています。3種類の香りが合わさって、紅茶に似た上品な香りを楽しむことができる焼酎です。是非とも、一度ご賞味下さい。

#### 事業の環境配慮

製造過程で出た焼酎粕は、伊佐地区にある畜産事業所等に提供され飼料となり、牛・豚の糞尿が米・芋の肥料となり、その米・芋が焼酎の原料になる循環型地域リサイクルシステムを実現しています。

焼酎に使用する伊佐市の美味しい水は、「水汲み場の解放」を行い地域の方々に無料で提供しています。伊佐市をはじめ、遠方から多くの方々が、水汲みにいらっしゃるとのことでした。

空き瓶については一升瓶のリユースは進んでいますが、まだ900mlのリユースが進んでいないのが現状です。しかし、大口酒造(株)では、「南九州における900ml茶瓶統一リユースモデル事業」を率先して推進しています。



リサイクルシステム



水汲み場の解放

## ひとひねり

大口酒造(株)では、徒歩・自転車通勤の場合には、1kmあたり10円の手当がある「エコ通勤制度」を推進しています。キャッチフレーズは「地球にも家計にも優しく、メタボもさようなら」というユーモア溢れるものでした。全社員が集まる忘年会では、景品に自転車があるとのこと。景品で当たった自転車を通勤に利用する人もいて、毎回どのような自転車が景品になるか楽しみにしているそうです。



環境に優しいR瓶

社内で、右の写真のように笑いを誘うエコを呼びかける「節電標語」を作成、掲示しています。標語は社員から募集し、標語を考えることで社員の節電意識も高まり、行動に移す人が増えてきたそうです。

[環境活動レポート](#)では、大口酒造(株)のイメージキャラクターである「くろいさくん」が表紙となっており、取り組んでいる活動をグラフや写真・イラスト等を使用して見やすく、分かりやすいものとなっています。



節電標語

## 今後の展開

現在、「[第3回ニチバン巻心 ECO プロジェクト](#)」という活動に参加されるようになったとのこと。焼酎の箱詰め等に利用するガムテープの使用量は非常に多いそうです。そのため、ガムテープの芯のゴミが多く出るので、まとめてテープの巻心を提供しているとのことでした。その結果、緑の地球賞として贈られた「[花の種詰め合わせ](#)」は、社内緑化に役立っています。

大口酒造(株)は焼酎造りと同様に、環境活動についても熱心で、自分たちに何ができるかということ「皆で考え、アイデアを出し合い、楽しみながら取り組まれている」姿が印象的でした。

社内見学も受け入れ可能ということなので、是非とも一度見学をしてみてください。多くのことを学べ、とても良い体験になると思います。

貴重な時間に、取材へご協力をして頂き、誠にありがとうございました。



社内緑化